

ナガイモの 上手な掘り方、蓄え方

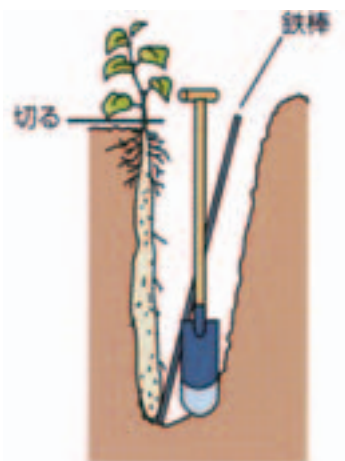


夏から秋にかけて盛んにつるを繁茂させてきたナガイモは、晩秋になり寒風が吹き始めると、茎葉は黄変し、やがて枯死してきます。掘り取りはこのような変化を良く見極めて行うことが大切です。

(1) 掘り取り適期 葉がすっかり黄変し、全体が枯れ始めた状態になったときです。緑の葉が残っているところに早く掘り過ぎると、芋をすりおろした際に褐変しやすいです。

イチョウイモは低温に弱いので、葉が黄変、枯れ始めた早いところが適期です。間違わないでください。

(2) 掘り取る日 できるだけ晴天続きを見計らって行うことです。雨後で畑が過湿状態のときに掘ると、貯蔵中の腐敗が起りやすくなります。ナガイモは根を深く形成しており、地温が下がりにくいので、低温害を受けにくく、天候を見て掘り取り日を決めるゆとりがあるので都合です。



株元から約30cm離れた所からスコップで掘る



イチョウイモは低温に弱いので、葉が色づいたら早めに掘り取る

(3) 掘り取り作業の手順 つるを芋の首の上5〜6cmの所で刈り取り、茎葉を片付けてから掘り取り作業に取り掛かります。ナガイモは組織が軟弱で、折れたり傷ついたりしやすいので、株の周り30センチくらい離れた所から、スコップを立てるようにして、すこしずつ慎重に掘り進みます。そして、芋の先端より少し深い

位置まで、十分注意して土を取り除き、芋を傷つけないよう丁寧に掘り上げましょう。図のように幅の狭いスコップや鉄棒などを用いると効率よく作業を進めることが出来ます。

(4) 掘り取り後の扱い方 掘り上げた芋は、直射日光や強い風に当たらないよう、土や覆いを掛けて肌を乾かさず、変色させないように

して畑から搬出しましょう。丸ごと1本の芋を短期間保存するには、新聞紙に包んで冷暗所に置くだけで大丈夫です。切つてある場合は、切り口が空気に触れないようラップできっちり包み、冷蔵庫の野菜室で保存します。

●板木利隆
板木技術士事務所



その他園芸資材のご用命は
資材課 TEL: 83-3845